日野市の財政状況

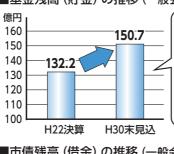
市税は横ばいで扶助費が継続的に増加していますが、借金(市債残高)を減らし貯金(基金残高)を増やし、持続可能な財政運営を行っています。

■一般会計 当初予算の推移



- ・市税はおおむね270億円から310億円程度で推移
- ・歳出総額は10年間で180億円以上増加
- ・主に高齢化の進展や子育て支援の充実などから扶助費(社会保障に要する経費)が増加

■基金残高 (貯金) の推移 (一般会計・特別会計合計)



基金は、家計にお ける「貯金」にあた るもので、急激な 税収の減や予測 できない災害や 公共施設の老朽 化などに対応する ため必要です

■市債残高(借金)の推移(一般会計・特別会計合計)



市債は、多額の資 金を必要とする事 業を実施するた め、国や銀行から 借り入れる借金の ことで、基金との バランスを見なが ら、残高を着実に 減らしています

市民1人当たりに換算すると

1人当たり税負担→ 16万6,112円(2,587円増) 1人当たり歳出額→ 37万830円 (1万8,754円増)

1万2,270円

(+18円)

7.105円

(+126円)

消防費

消防活動、災害対策などの

その他

市議会運営、労働、農業、

※()内は前年度比

民 生 費

高齢者や障害者などに対する 社会福祉、児童福祉や生活保 護のための費用

17万4,511円 (+3,788円)





衛生費 ごみ処理、保健衛生、予防 接種、環境衛生などの費用

4万5,036円 (+5.588円)



総務費

庁舎管理、徴税、統計、選挙 事務や戸籍、住民登録などに 必要な費用

教育費

4万2,253円 (+6.323円)



小・中学校教育、社会教育、 市民会館、公民館活動、スポ -ツ活動などの費用

4万96円 (+3.569円)





土木費

道路の新設・維持管理や公園

整備、市営住宅の維持管理な

どの費用

3万3,872円

(▲932円)

公債費

市債(市の借り入れたお金)の





貯金(基金残高)

5万1.910円 (+4.612 円)

借金(市債残高)

18万5.125円 (+2,952円)

※歳出額は一般会計のもの ※市民1人当たりの金額は平成31年 4月1日現在の人口185,530人(外 国人を含む)で算出

平成30年度下半期財政状況

(平成31年3月31日現在)

(単位:億円)

(単位: 億円)

■市有財産								
	土地	171万㎡						
	建物	34万㎡						
基金	公共施設建設基金	18億4,521万円						
	職員退職手当基金	13億3,471万円						
	財 政 調 整 基 金	42億7,083万円						
	環 境 緑 化 基 金	6億6,413万円						
	平 和 事 業 基 金	1億円						
	バリアフリー事業推進基金	8,969万円						
	土地区画整理事業基金	11億603万円						
	介護給付費準備基金	7億4,500万円						
	市民体育施設整備基金	8億745万円						
	学校施設整備基金	8億175万円						
	減 債 基 金	3億2,724万円						
	新選組関連資料収集基金	2,141万円						
	ごみ処理施設整備基金	27億9,500万円						
	福祉あんしん基金	1億1,164万円						
	病 院 整 備 基 金	5,362万円						
	合 計	150億7,371万円						

■市債の状況

30年度元金償還額 30年度末残高 会計名 29年度末残高 30年度借入金 般 会 計 317.9 32.7 26.1 324.5 下水道事業特別会計 206.8 6.2 20.7 192.3 病院事業会計 64.5 1.2 4.9 60.8 土地区画整理事業特別会計 23.7 0.0 33 20.4 合 計 612.9 40 1 55.0 598.0 ※30年度末残高は見込額を含む

■平成30年度下半期各会計別予算執行状況

_	1	(+ lit , livi])			
	会計名		予算現額	収入済額	支出済額
_	般 会	計	681.2	641.3	608.8
特別会計	国民健康1	保 険	169.1	155.3	154.2
	土地区画整理	事 業	38.6	32.2	8.4
	下 水 道 事	業	46.6	38.6	38.0
	介 護 保	険	135.9	123.7	120.8
	後期高齢者	医 療	43.5	42.4	43.2
	市立病院事業(収入)	91.6	74.8	
	市立病院事業(支出)	91.7		71.7

※市立病院事業会計は「資本的収入および支出」を除く

※一般会計および土地区画整理事業の予算現額には繰越明許費を含む

令和元年度の主な取り組み

参画と協働のまち

2億5.725万円

- ●公共施設等総合管理計画の推進~モデルプランおよび個別計画 の検討
- ●人権を尊重する意識の醸成~LGBTの理解促進
- ■公契約条例の本格的な運用による適正な労働および経営環境の 実現
- ●自治体クラウドの推進~日野市・立川市・三鷹市による住民情 報システムの共同利用 など

子どもが輝くまち

8億3.480万円

- ●保育施策の推進~1歳児緊急受入事業
- ●放課後子ども教室スーパーひのっち「なつひの」の拡大(12 校実施へ)
- ●学校における意識改革・業務改善~スクール・サポート・スタ ッフ充実
- ●未来に向けた学びと育ちの基本構想および未来につなぐ創造力 プロジェクトの実施 など

Ⅲ 健やかでともに支えあうまち

1,587万円

- ●障害者差別解消の推進~職員採用および条例の制定
- ●在宅療養体制構築に向けた取り組み~在宅医療と介護連携支援 窓口の設置準備
- ●特別養護老人ホームの開設~多摩平の森A街区に「花子」開設
- ●市立病院経営体制の強化(総合内科設置等診療部門の充実・経 営企画室設置)など

₩ 日野人・日野文化を育てるまち 5億563万円

- ●オリンピック・パラリンピック関連事業~気運醸成とホストタ ウン登録
- ●「桑ハウス」の保存活用に向けた取り組み
- ●浅川スポーツ公園グラウンド整備~人工芝改修工事 など

| 自然と調和した環境に優しいまち 30億7,267万円

- ●新可燃ごみ処理施設およびプラスチック類資源化施設建設工事。 更なるごみ減量に向けた第2次ごみ改革への取り組み
- ●黒川清流公園の湧水保全 など

Ⅵ 安全で安心して暮らせるまち 19億2.432万円

- ●本庁舎の免震化および長寿命化計画の推進
- ●地域防災力の向上~危機管理専門官の任用および避難所への機 材配備
- ●民間建築物等安全対策~民有地ブロック塀等安全対策補助事業 など

└── 地域の魅力を活かした活力あるまち 5億7,902万円

- ●土方歳三没後150年事業シティプロモーション~ひの新選組ま つりの充実・特別展の実施
- ●生産緑地保全対策~特定生産緑地指定への働きかけ
- ●商業振興条例の制定と支援策の展開
- ●市内連絡バス増便と丘陵地ワゴンタクシー土日祝日運行実証実験
- ●都市計画道路3・4・24号線の整備 など

日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の使い道

令和元年度の地方消費税交付金の消費税率引き上げに伴う増分は、15億3,200万円になる見込みで、下記の通り全て社会保 障施策に充てられます。

■日野市における地方消費税交付金(消費税率引き上げ分)の充当先

社会保障施策の区分			財源内訳								
		事業経費	特定財源		一般財源						
国による分類	日野市の予算による分類		国都支出金	負担金など	地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	その他					
社会福祉※1	社会福祉総務費、発達支援費、障害福祉費、老人福祉費※4、老人福祉施設費、 児童運営費、ひとり親福祉費、保育園費、児童館費、放課後子ども育成費、生活保護経費 など	254億2,443万円	153億6,854万円	9億3,546万円	8億9,182万円	82億2,861万円					
社会保険※2	国民健康保険事業費、介護保険特別会計 および後期高齢者医療特別会計繰出金	54億1,360万円	7億5,235万円	181万円	4億5,561万円	42億383万円					
保健衛生※3	保健衛生総務費、予防費、健康管理費、 病院費	23億4,459万円	3億4,007万円	1億1,700万円	1億8,457万円	17億295万円					
令和元年度当初予算額688億円のうち		331億8,262万円	164億6,096万円	10億5,427万円	15億3,200万円	141億3,539万円					

※1:生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害福祉など

※2:国民健康保険、介護保険、年金など

※3:医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など

※4:社会保険に係る介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計への繰出金を除く